

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境 NET

会 報

第1号(2006年1月)

会報刊行のご挨拶

会報を刊行するにあたり、一言ご挨拶いたします。

私達のNPOでは2005年2月5日に第1回のセミナーを開催して、対外的な活動を開始しました。その後第2回セミナー(10月1日)、見学会(10月23日)と行事を重ねてきましたが、いずれも参加者30名程度の催しであります。2回にわたるセミナーの各テーマは時宜にかなったもので、かつ高度な学理に裏付けされたものであったと自負していますが、参加者数が伸び悩んだのはどうしてだろうかと反省しているところであります。さらに先端的で、かつ実用に即したテーマを発掘する必要があるのかも知れませんが、その方向のみに走ると、学理が疎かになりはしないかという懸念が生じます。その辺りの兼ね合いを考えてテーマを探るとともに、当NPOの活動についての宣伝も大切だと考えています。

会報は活動を周知するための有力な手段であり、会員諸氏とともに大切に育てて行きたいと思っています。

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境NET 理事長

鶴巻道二

目 次 CONTENTS

・ 刊行のご挨拶	1
・ 現地見学会報告	2
・ 活動報告	4
・ 会則	7
・ 平成16年度会計報告	9
・ 平成17年度事業計画及び予算	11
・ 会員動向	13
・ お願い	13

地下水を主題とする小さな旅

大阪府三島郡島本町 離宮の水を訪ねて…

【2005年10月23日(日)現地見学会報告】

NPO 法人 地盤・地下水環境 NET 理事 山下義和

阪急水無瀬駅前に集合し、鶴巻先生より山崎界隈の地下水事情、島本町浄水場に関する概略説明などを受けて、事前知識をインプットしてから出発しました。

小雨模様の中、島本町浄水場へ向かい、浄水場では池下浄水場長より丁寧な、ご説明を頂きました。

島本町では9本の井戸を掘り水源としていますが、将来を考えて府営水道からも約10%の水供給を受けています。現在、地下水による水供給が8,500t/d、府営水が1,000t/d、



阪急水無瀬駅にて鶴巻先生による講義

原水コストは、それぞれ173円/t、87円/t、です。府下で5番目に高い水道料金なのですが、住民の方々は、高くて地下水の供給を望んでおられるとのことでした。現在の施設で人口35,000人まで対応可能とのことです。

地下水は年間を通じて16~18℃の水温を維持していて、これは最もおいしく感じる温度であることなどをお話し頂いた後、具体的な水処理過程についての説明を受けました。

当初最新技術を誇っていた水処理における管理体制も今では老朽化していて、他の浄水場で電子化が進むなか、当浄水場ではまだ記録紙方式に頼っています。施設の改築を迫られているのですが、財源の関係から思うように行かない苦労話なども同時に聞きました。場内施設見学が始まった頃には、雨もすっかり上がり青空が拡がっていて、隣接する芦刈コーナーでは地元の人たちが、ポリタンクを持参しておいしい水を汲みにきていました。



島本町浄水場 池下場長より説明



昼食は水無瀬神宮で各自持参したお弁当を、それぞれおいしく頂きました。この日は丁度水無瀬神宮のお祭りと重なり、神社は沢山の人で賑わっていました。

この神社には、名水として有名な離宮の水が湧いており、訪れた人々は、この水で手を清めたり、飲んで味わったりして楽しんでいました。



水無瀬神社 離宮の水

昼食後は神社の境内を使用させてもらって、地下水や水道水、ミネラル水、などの成分分析を簡易水質検査(パックテスト)で行いました。分析項目は以下に示す、鉄分、硬度、PH、などです。

	伝導度(ms·cm)	硬度	Fe	pH
離宮の名水	220	100	<0.2	6.7-7.0
大阪市水道水(都島区)	220	<100	<0.2	7.0-7.5
エビアン	601	>200	<0.2	7.0-7.5
堺市水道水	230	<100	<0.2	7.0-7.5



パックテスト

午後は、水無瀬川沿いに河川水が伏流する場所を見学しながら、東大寺公園に到着、鶴巻先生より、六角形で表現する水成分の顔の話、当地の地形地質と地下水の関係、広葉樹が減り竹林が増えたため地下水が涵養が減る。などの講義を受けました。

そして最後はサントリー山崎蒸留所にて工場見学とウイスキーの試飲を行いました。

たくさんの工程と手間、年月をかけて製造されるウイスキーの底深さを見て、改めてその価値を感じる次第でした。サントリー工場見学会のあと、当地にて解散しました。



サントリー山崎蒸留所での記念撮影

**特定非営利活動法人 地盤・地下水環境NET
活動報告 (2004.4.18 ~ 2005.10.30)**

2004.4.18 : 発起人会

鶴巻道二、中川康一、奥田庸雄、載 忠希、金丸昌弘 の 5 名による発起人会を開催し、設立趣旨書、定款案について検討した。

2004.4.19 ~ 2004.5.7 : 準備期間

設立趣旨書、定款、初年度・翌年度事業計画書及び事業収支予算書等の作成を行い、同時に設立趣旨に賛同する発起人会出席者を含む 10 人を募った。

2004.5.8 : 設立総会

設立趣旨書、活動目的、定款、財産目録、初年度及び翌年毎事業計画書、初年度及び翌年度の収支予算書について承認を得た。また、設立代表者は鶴巻道二氏が選任され、被選任者はその就任を承諾した。その他の理事及び監事も同様に選任され、就任の承諾を得た。

理事長 ; 鶴巻道二

理事 ; 中川康一、奥田庸雄、山下義和、載 忠希

監事 ; 金丸昌弘

2004.5.28 : 第 5 回都市地下水環境研究会

NPO(設立前)として参加

2004.6.11 : 設立承認申請書提出

大阪府に申請書類を提出し、受理される。

2004.7.23 : 第 6 回都市地下水環境研究会

NPO(設立前)として参加

2004.10.13 : 認証

大阪府より当特定非営利活動法人が認証される。

2004.10.25 : 設立登記

登記が完了する。

2004.11.5 : 臨時総会

事務所移転の件、広報活動、セミナー開催等について検討後全ての議案が承認された。

2004.11.5 : 第 7 回都市地下水環境研究会

NPO として参加

2005.1.22 : 理事会

セミナーの運営方針、ホームページ作成の件及び次年度の活動方針等について検討後全ての議案が承認された。

2005.2.5 : 総会

金丸昌弘氏の死去に伴い監事変更が必要になり、新監事に釜本英一氏が選任され、被選任者はその就任を承諾した。また、今後の運営を考慮して理事の増員の議案が承認され、田村優加子、山本勇、熊井久雄の 3 名が選任された。被選任者はその承認を承諾した。この結果、8 名の理事となった。

その他の議案として、ホームページの件、他機関との連携の件について、全員異議なくこれを承認した。

2005.2.5 : 第 1 回セミナー開催

第 1 回セミナーは以下の講演内容で開催した。

中川康一（防災から見た都市の地下水問題）

鶴巻道二（上水道水源の地下水依存状況）

辻山正甫（淀川汽水域の過去と現在）

2005.3.12 : 理事会

ホームページ、リーフレット、会報作成の件について検討し全ての議案について全員異議なく承認した。

2005.4.1 : 第 8 回都市地下水環境研究会

NPO として参加

2005.6.3 : 第 9 回都市地下水環境研究会

NPO として参加

2005.7.23 : 理事会

第 2 回セミナー及び現地見学会開催について、その開催時期、内容について検討した。さらに書籍出版、その他事業の案件等について検討し全ての議案について全員異議なく承認した。

2005.9.2 : 第 10 回都市地下水環境研究会

NPO として参加

2005.10.1 : 第 2 回セミナー開催

第 2 回セミナーは都市地下水研究会、関西地質調査業協会の共催及び日本応用地質学会関西支部、(財)日本地下水理化学研究所の後援のもとで以下の講演内容で開催した。

特別講演

登坂博行 (水環境の科学 河川・地下水の流れを考える)

シンポジウム

鶴巻道二 (地下水利用のメリットとデメリット - 上水道水源として)

熊井久雄 (熊本市上水道水源保全対策案の紹介)

尾西恭亮 (物理探査による地下水調査能力の評価)

吉岡真弓・中川康一 (散水によるヒートアイランド対策)

中込誠・中川康一 (地下水を考慮した地震動被害予測)

2005.10.1 : 理事会

会報発行の件及び現地見学会開催の詳細について検討し全ての議案に対して全員異議なく承認した。

2005.10.23 : 現地見学会 (島本町の地下水をたずねる)

島本町の上水道施設、離宮の水 (大阪府唯一の名水) 水無瀬川の状況、各水源井戸を見学するとともにサントリー山崎蒸留所を訪れた。また、各種の飲料水の PH 値、電気伝導度、硬度、鉄分含有量等について測定した。

(文責 : NPO 地盤・地下水環境 NET 理事 戴 忠希)

特定非営利活動法人地盤・地下水環境 NET 会則

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人地盤・地下水環境 NET という。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を大阪市西区京町堀一町目 8 番 5 号明星ビル 5 階に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、地下水の有効利用を促進し、地下水汚染、土壤汚染の発生、拡散の防止を図り、更には地震時の液状化や各種の地盤事故の防止を図るための活動を行い、地域と社会の生活環境の向上に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

1 環境の保全を図る活動

2 科学技術の振興を図る活動

3 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動にかかる事業として、次の事業を行う。

1 交流会、各種の相談に関する事業

2 各種情報提供サービスのための会報等の発行事業

3 地盤・地下水環境に関するセミナー開催の事業

4 地下水に関する各種水文調査、分析事業

5 液状化対策調査

6 地下水汚染、土壤汚染関連の調査、分析事業

7 公共用水域に係わる水質環境調査、分析事業

8 ビオトープに関する事業

9 地下水環境保全及び土壤環境保全に関する各種推進事業の方策

10 前各号に付帯関連する一切の事業

二. この法人は、その他の事業として次の事業を行う。

1 地盤・地下水の各種解析に係わるソフトの販売

2 地盤・地下水に関する書籍の販売

三. 前項に掲げる事業は、第一項に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、その収益は第一項に掲げる事業に充てるものとする。

第3章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

1 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人

2 贊助会員 この法人の目的に賛同して入会した法人の活動に参画する団体
(入会)

第7条 会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により理事長に申し込むものとする。

二. 理事長は、前項の申し込みがあったとき、理事会の意見を聴取し、正当な理由がない限り入会を承認しなければならない。

三. 理事長は、第1項のものの入会を認めないとときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

1 退会届の提出をしたとき。

2 本人が死亡し、又は団体が消滅したとき。

3 当な理由なく会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、納入しないとき。

4 除名されたとき。

(退会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、理事会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

1 この会則に違反したとき。

2 この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

3 特定非営利活動促進法第20条の1号～5号に相当する者。

(拠出金品の不返還)

第12条 既に納入した入会金、会費及びその他の拠出金品は、返還しない。

第4章 運営

(種別)

第13条 この法人の総会は、通常総会（年1回）及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第14条 総会は、正会員をもって構成する。

(事業年度)

第15条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第5章 会費

入会金及び会費は、第8条の規定にかかわらず次に掲げる額とする。

1. 正会員 入会金 5,000円 年会費 10,000円
2. 賛助会員 入会金 5,000円 年会費 20,000円

附則

- 1.この会則は、この法人の平成17年4月1日から施行する。

平成16年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支計算書

平成16年10月25日から平成17年3月31日まで

科 目	金 額		
(資金収支の部)			
経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入	110,000		
正会員会費収入	100,000		
賛助会員会費収入	170,000	380,000	
2 事業収入			
セミナー事業収入		13,500	
経常収入合計			393,500

経常支出の部			
1 事業費			
セミナー事業費	17,300		
通信費	101,898		
事務用品費	35,520		
消耗品費	3,563		
印刷製本費	36,750		
運搬費	15,340		
賃貸料	4,725		
支払手数料	1,340		
租税公課	4,000	220,436	
経常支出合計		220,436	
経常収支差額		173,064	
その他資金収入の部			
その他資金収入の部合計		0	
その他資金支出の部			
その他資金支出の部合計		0	
当期収支差額		173,064	
前期繰越収支差額		0	
次期繰越収支差額		173,064	
(正味財産増減の部)			
正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額	173,064		
2 負債減少額		0	
増加額合計		173,064	
正味財産減少の部			
1 資産減少額		0	
2 負債増加		0	
減少額合計		0	
当期正味財産増加額		173,064	
前期繰越正味財産額		0	
当期正味財産合計		173,064	

平成17年度事業計画書

事業の実施方針

二年目は依然として基礎固めの段階ですので、交流会、各種の相談に関する事業を中心に当該法人を継続させる事に重点を置いて活動します。

事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 交流会、各種の相談に関する事業

【内 容】市民のための地下水利用セミナー及び現地見学会

【実施場所】文化交流センター及び現地

【実施日時】年2回

【事業の対象者】一般市民

【収 入】資料代：60,000円（500円×60人×2回）

【支 出】会場使用料：20,000円

資料作成費：60,000円（500円×120部）

(2) 各種情報提供サービスのための会報等の発行事業

【内 容】会報の発行

【実施日時】年1回

【事業の対象者】希望者

【収 入】0円

【支 出】印刷費、郵送料金：100,000円

2 その他の事業

本年度は実施しない

平成 17 年度特定非営利活動に係る事業収支予算書

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日 (単位 : 千円)

科 目	予 算 額	前 年 実 績	差 異	備 考
収入の部				
1 入会金・会費収入				
正会員入会金収入	75	85	10	5千円×15人
賛助会員入会金収入	25	25	0	5千円×5
正会員会費収入	320	100	220	10千円×32人
賛助会員会費収入	200	170	30	20千円×10
2 事業収入				
セミナー参加費	40	13	27	
当期収入合計 (A)	660	393	267	
前期繰越収支差額	173	0	173	
(設立時資金有高)				
収入合計 (B)	833	393	440	
支出の部				
1 事業費				
セミナー開催事業	100	50	50	
会報等の発行事業	100	37	63	
2 管理費				
通信費	280	102	178	振込み手数料含む
消費什器備品	180	31	149	
3 予備費				
	150	0	150	
当期支出合計 (C)	810	220	590	
当期収支差額 (A) - (C)	23	173	150	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	23	173	150	

会員動向

(平成17年12月31日現在)

正会員 23名
賛助会員 10団体

入会順

三井共同建設コンサルタント株式会社	関西支社
株式会社 土質工学研究所	
株式会社 大石	
有限会社 研美社	
株式会社 ミコー総合開発	
株式会社 東峯技術コンサルタント	
帝人工コ・サイエンス株式会社	
株式会社 日さく 大阪支店	
有限会社 アムスエンジニアリング	
株式会社 山河企画	

お願い

【その1】

地盤・地下水環境 NET では、趣旨に賛同いただける会員を募集しております。お知り合いの方に、是非お知らせください。

なお、入会方法は、下記にお問い合わせください。

電話 06-6225-2805

http://www.jck-net.org/06_00_entry.html

【その2】

当会報に掲載する記事を募集いたします。報告、技術紹介、書評、エッセイなど、地盤・地下水環境に関する事項でしたなら、何でも結構ですので、お送りください。

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境 NET

〒550-0003 大阪市西区京町堀 1-8-5 明星ビル 5F

Tel 06-6225-2805 Fax 06-6225-2880

URL <http://www.jck-net.org/>